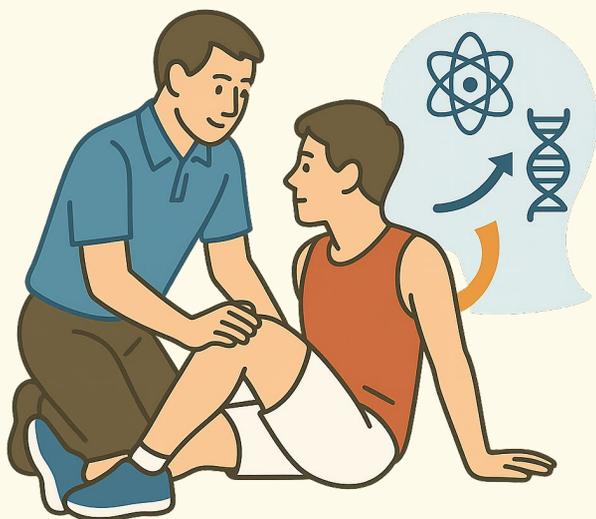


スポーツを支える トレーナーの歩みとこれから



近年、世界に羽ばたくアスリートの活躍の陰で、日々寄り添い支える「トレーナー」という存在にも注目が集まっています。

トレーナーはアスリートのケガの予防や競技復帰を支援するだけでなく、現場と研究をつなぎながらスポーツ科学の知見をスポーツ現場や社会へと広めてきた媒介役でもありました。

本シンポジウムでは、日本人で初めてNATA公認アスレティックトレーナー資格(ATC)を取得し、第一線で現場を見続けてきた鹿倉氏に、トレーナーの歴史的な歩みとその現在・未来像をお話しいたします。

シンポジスト

鹿倉二郎

駿河台大学客員教授

専門領域: アスレティックトレーニング



1977年に日本人で初めてNATA公認ATCを取得し、帰国後はテーピング講習会や著書を通じてアスレティックトレーニングの普及と育成に尽力。1996年にJATOを設立し会長を務めるなど国内制度づくりにも貢献した。大学教育にも携わり、順天堂大学教授、駿河台大学特任教授として後進を指導。2024年にはアジア人初のNATA殿堂入りを果たしている。現場では長年にわたりアメリカンフットボール(早稲田大学・社会人チームなど)のサポートに従事してきた。

指定討論者: 信太直己氏・佐々木 理博氏・飯田悠佳子氏(スポーツ科学部准教授)

日時

令和7年 | 11月 | 4日(金) 15:00~17:00

会場

駿河台大学

第二講義棟 4階7404教室(AVホール)

参加費
無料

下記QRコードからも
申込みができます。

お申込み

下記のメールアドレスへ ①氏名 ②カナ氏名 ③郵便番号
④住所 ⑤電話番号 をご入力の上、お申込みください。

✉ sogokenkyujyo@surugadai.ac.jp

※当日受付も可能です。会場受付までお越しください。



お問合せ



駿河台大学
総合研究所

TEL:042-972-1141

Mail:gakumu@surugadai.ac.jp